

平成28年度 事業実績報告書

社会福祉法人 土佐市社会福祉協議会

平成28年度事業実績報告書

土佐市社会福祉協議会

社会福祉協議会は、**活動原則**として、「住民ニーズ基本の原則」、「住民活動主体の原則」、「民間性の原則」、「公私協働の原則」、「専門性の原則」としてまた、社会福祉協議会の求められる**機能**として「住民ニーズ・福祉課題の明確化」、「住民活動の推進機能」、「公私社会福祉事業等の組織化・連絡調整機能」、「福祉活動・事業の企画及び実施機能」、「調査研究・開発機能、計画策定」、「提言・改善運動機能、広報啓発運動機能」、「福祉活動・事業の支援機能」が基本原則である。(新・社会福祉協議会基本要項より抜粋)

また、**社会福祉法第4条**では、「地域住民、社会福祉事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。」と明記され社会福祉協議会はその目的達成のため**社会福祉法第109条**に明記された「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置づけられている。

当協議会としては、土佐市に設立した社会福祉法人として土佐市より法人運営に関しては一定の補助金を受け、社会福祉事業にたずさわってききましたが、年々補助金は減額し、当初8人体制であったものが近年では3人体制となり、たとえば(新・社会福祉協議会基本要項の市区社会福祉協議会モデルでは最低9名～13名+人口・事業規模に応じて職員の増+直接事業職員)であるが、当協議会を自己分析し市に対して十分な説明までには至っておらず、適正な運営体制を行う為の努力が不足していました。

また、平成25年に発端となった、奉仕員養成研修事業(手話奉仕員養成)の不正請求で社会福祉協議会としての信用が失われました。その後の職員解雇における裁判(最高裁決定調書により当協議会の勝訴は確定)解雇の正当性は認められた。

しかし重なる時期に土佐市より説明を求められた過去の補助金を受けた内容の説明を十分に説明を果たしていなかったことに対する社協会費等の収入を収入判定され補助金から差し引かれる問題が起きた。

また、責任職である前会長、前一部役員、前事務局長による運営責任を一担当職員の責任として何ら権限の無い職員を理事会、評議員会で責任を押し付け自らは無責任という態度や理事会の決定が無いにも関わらず、前会長・前局長の独断専行という組織のガバナンスが効かない状態であった。

現体制となった現在においては、経営状況の見直しや、事業の在り方について検討し行政との公私協働関係の回復や市民ニーズを基に新規事業の開拓のため、課題の発見や専門性を育成するため職員の研修等改善に日々努めています。

28年度では、災害ボランティアセンター運営訓練や災害ボランティアセンターを立ち上げ前の初期行動計画の策定や日本赤十字社高知県支部と共同で、ふれあいフェスタにて炊出し訓練を実施しました。

また、セカンドハーベストジャパンやフードバンク高知と団体会員となる事で、行政が行う措置では対応出来ない方々への対応も進めています。

当協議会は、土佐市に設置された社会福祉協議会として、**社会福祉法第 24 条**に明記されたより良質な福祉サービスを行う事を目指し、また活動について住民へ説明責任を当然に果たしていかなければなりません。次年度に関しても現状の事業をより精査し、地域住民とともに地域福祉を推進して行きます。

1. 理事会

年 月 日	議 決 案 件
平成 28 年 4 月 20 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の処遇について 2. 評議員の変更について 3. 社協の赤字解消について 4. 就業規則の改正について
平成 28 年 5 月 26 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 28 年第一回補正予算専決処分について 2. 平成 27 年度事業報告について 3. 平成 27 年度決算報告について
平成 28 年 7 月 1 日	<ol style="list-style-type: none"> 1.福祉センター貸出しについて 2.退職積立資産の積立について 3.給与規程等規定の改正について 4.その他
平成 28 年 7 月 12 日	<ol style="list-style-type: none"> 1.会長の選任について 2.副会長の選任について 3.その他
平成 28 年 8 月 5 日	<p>提出議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定款の変更について 要介護認定調査事務（新規分野）およびあったかふれあいセンターに関する事 2. 会長に事故あるとき、又は欠けたとき、その職務を代理する副会長の順次について <p>報告事項</p> <p>土佐市社協の課題や今後の取り組みについて</p> <p>その他</p>
平成 28 年 10 月 5 日	<p>提出議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.市長への要望書について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.社協の課題や今後の取り組みについて（前回理事会後の経過説明等） <p>その他</p>
平成 28 年 12 月 6 日	<p>提出議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.土佐市社会福祉協議会定款（案） 2.評議員選任・解任委員会運営細則（案）

	<p>3.評議員の報酬等に関する規程（案）</p> <p>4.役員等報酬等に関する規程（案）</p> <p>5.評議員の選任に関する規程（案）</p> <p>6.役員の選任に關しての規程（案）</p> <p>報告事項</p> <p>社協の課題や今後の取り組みについて（前回理事会後の経過説明等）</p> <p>その他</p>
平成28年12月26日	<p>提出議案</p> <p>1.評議員の選任について</p> <p>2.人事院勧告に伴う給与改定について</p> <p>報告事項</p> <p>土佐市長への要望書提出について</p> <p>その他</p>
平成29年 2月16日	<p>提出議案</p> <p>1.評議員選任・解任委員会の委員の選任について</p> <p>2.経理規程の一部改正（案）について</p> <p>3.平成28年度一般会計補正予算（案）</p> <p>協議事項</p> <p>1.訪問介護事業の収支見込みについて</p> <p>2.今後の社協の経営について</p> <p>その他</p>
平成29年 3月10日	<p>提出議案</p> <p>1.介護事業の休止について</p> <p>協議事項</p> <p>1.今後の社協の運営について</p> <p>2.経理規程の一部改正について</p> <p>その他</p>
平成29年 3月23日	<p>提出議案</p> <p>1.経理規程の改正について</p> <p>2.平成29年度事業計画（案）について</p> <p>3.平成29年度社会福祉事業・公益事業収支予算（案）について</p> <p>協議事項</p> <p>1.今後の社協運営について</p> <p>その他</p>

2. 評議員会

年 月 日	議 決 案 件
平成28年 5月26日	1.平成28年第一回補正予算専決処分について 1. 平成27年度事業報告について 2. 平成27年度決算報告について
平成28年 7月4日	1.理事及び監事の選任について
平成28年 8月4日	提出議案 1.欠員理事の選任について 報告事項 1.土佐市社協の課題や今後の取り組みについて 2.定款の変更について 要介護認定調査業務（新規分野）及びあったかふれあいセンターに関すること その他
平成28年 8月12日	提出議案 1.定款の変更について 要介護認定調査業務（新規分野）およびあったかふれあいセンターに関すること その他
平成28年12月13日	提出議案 1.社会福祉法人土佐市社会福祉協議会定款の改正について 報告事項 1.評議員選任・解任委員会運営細則の制定について 2.評議員の報酬等に関する規程の制定について 3.役員等報酬等に関する規程の一部改正について 4.評議員の選任に関する規程の一部改正について 5.役員の選任に関しての規程の一部改正について その他 1.今後のスケジュールについて 2.事務局のスタッフ確保について 3.人勧に伴う給与改定について
平成29年 2月23日	提出議案 1.平成28年度一般会計補正予算（案）について 報告事項 1.経理規程の一部改正について 2.訪問介護事業の収支見込みについて 3.今後の社協の経営について その他

平成29年 3月28日	提出議案 平成29年度事業計画（案）について 平成29年度社会福祉事業・公益事業収支予算（案）について 協議事項 1.訪問介護事業の廃止について 2.今後の社協運営について その他 1.経理規程の改正について
-------------	---

3. 法人拠点

① 自主財源の確保

土佐市住民の皆様をはじめ各自治会協議会、民生委員協議会や各団体等の協力を得て下記の実績をあげる事が出来ました。

【主たる収支内訳】

収入の部

単位：円

区 分	世帯数及び件数	金額（円）
一般会費	6,290	1,887,264円
特別会費（団体・個人）		21,000円
計	6,290	1,866,264円

支出の部

単位：円

区 分	説 明	金額（円）
事業費		
(1) 推進校助成金	土佐市内指定13校へ配分 福祉推進教育活動へ活用	585,000円
(2) 地区社協育成費	宇佐～戸波地区社協8地区 へ配分（地域福祉活動へ活用）	1060,000円
(3) 高齢者関係給付金 支出	ねたきり老人等おむつ配布事 業（民生委員協議会と共催）	99,619円
(4) 保険料支出	広報車等保険料	295,500円
(5) 給食費	ふれあいフェスタ炊出し訓練	48,310円
(6) 教育指導費	社会福祉大会発表校図書券	10,000円
事務費		
(1) 渉外費	火災等罹災者見舞金等	13,000円
(10) 租税公課	9人乗り公用車税金等	71,896円
計		2,183,325円

※ 但し、会費の在り方について、土佐市と協議中である。

(1) 福祉活動推進校の指定

昭和52年にスタートした福祉活動推進校は、平成28年度現在、土佐市内において、現在13校の学校がそれぞれの福祉教育の指導により福祉作文の発表運動会への招待・地域の高齢者との交流（花壇づくり）等様々な福祉活動に取り組んでいます。

指定校 宇佐小・新居小・高石小・高岡第一小・高岡第二小・蓮池小・波介小
北原小・戸波小・土佐南中・高岡中・戸波中・高岡高校

また、児童の健全育成として

- ・推進校助成金を活用し市内の小中高に福祉推進教育育成のため助成。
 - ・市内小中高の要請を受け、高齢者疑似体験、車いす体験等の指導。
- 平成28年度は、高岡第一小学校3年生を対象に10月12日社会福祉センターで高齢者疑似体験。また、長寿政策課と合同で認知症サポーター研修を実施した。

(2) 地区社協への育成

宇佐～戸波（8地区）に対して社協として独自に助成を行っている。

各地区社協において、ふれあいのまちづくり事業の一環として小地域ネットワークづくりを推進するにあたり、民生委員・ボランティア・その他関係諸団体の協力のもとにそれぞれの地域の特色を生かした活動を行っている。

- 友愛訪問 対象者：高齢者・障害者
- ふれあい会食会 参加者：高齢者・ボランティア・小学生
- ミニデイサービス事業
- 3世代交流餅つき大会 住民・児童等

(3) 高齢者記念品

在宅でねたきり高齢者等を介護している家庭に対し、家族の介護並びに経費負担の軽減をはかることを目的に「紙オムツ」等を配布した。

配布にあたっては民生委員や地域のボランティアの協力を得て配布した。

- オムツ配布 対象者：ねたきり高齢者

ねたきり高齢者	82人
配布ボランティア	29人

(4) 経費支出

事業に必要な経費として支出した。

- 広報車・公用車維持管理費
- 事務用品代等
- 社協だよりの発行費用
- 火災等罹災者への見舞金 2件 消防団寄付 1件

② 福祉体験学習

- ふれあいフェスタ 手話体験講座を開催 約50人
- ふれあいフェスタ炊出し訓練 約300人

③ チャイルドシートレンタル事業

交通事故発生時における乳幼児の生命、身体の保護のため、チャイルドシートの普及促進を図ることを目的にレンタル事業を実施した。

貸出台数 8台

④ 福祉機器の貸出し事業

介護保険適用申請中の方やケガをされた方、福祉体験学習などを対象に福祉機器の貸出しを行った。

車イス 23台 高齢者体験セット 4セット

⑤ 生活福祉資金の貸付事業

県社協より生活福祉資金貸付事業委託事務を受託し、貸付事務および償還事務を行った。

- ・民生委員協議会と密接な連携のもと資金利用について適切な助言指導を行った。
- ・資金の償還については、県社協の貸付対象者への指導に立ち会った。
- ・督促は借受人および連帯保証人に対して督促状・催告状を県社協からの書類をもとに適宜発送するなど、その解消に努めた。

本年度について貸付・相談状況は次のとおり

生活福祉資金相談等状況表

生活福祉資金名			相談総件数	
①	生活福祉資金	生活福祉資金 (総合支援資金)	電話相談件数	3件
			来所相談件数	1件
			申請件数	0件
			貸付件数	0件
②	生活福祉資金	生活福祉資金 (福祉資金・緊急小口資金)	電話相談件数	23件
			来所相談件数	11件
			申請件数	6件
			貸付件数	6件
③	生活福祉資金	生活福祉資金 (教育支援資金)	電話相談件数	6件
			来所相談件数	4件
			申請件数	0件
			貸付件数	0件
生活福祉資金名			相談総件数	
④	生活福祉資金	生活福祉資金 (不動産担保型生活資金)	電話相談件数	1件
			来所相談件数	2件
			申請件数	2件
			貸付件数	0件
⑤		臨時特例つなぎ資金	電話相談件数	0件
			来所相談件数	0件
			申請件数	0件
			貸付件数	0件
⑥		その他制度等全般来所相談	件数	8件
⑦		その他制度等全般問い合わせ	件数	8件
⑧		その他問い合わせ	件数	9件

生活福祉資金貸付業務委託精算書

収入

単位：円

項目	精算額	説明
県社協委託費	291,000	県社協委託費
収入合計	291,000	

支出

単位：円

項目	精算額	説明
事務費		
旅費	500	償還指導駐車場代
事業費		
消耗品費	21,504	事務用品代等
通信運搬費	73,460	携帯電話、ケーブルネット料
備品費	84,672	事務所デスク、椅子代
賃借料	110,000	会計システム年間保守料
手数料	864	振込手数料
支出合計	291,000	

⑥ ボランティア活動

ボランティア活動は、ボランティア及びボランティアグループの登録、斡旋登録者への情報提供、活動分野の確保等に努めた。

また、活動においては、各グループ・個人単位による手話奉仕・給食サービス等積極的活動を展開した。

当協議会は、県社協よりボランティア保険事務委託を受けている。

委託額 5,000円 事務用品等に活用している

現在ボランティア登録は

しらゆり会	42人	
高石ほのぼの会	18人	
健康づくり推進協議会	6人	
民生委員	71人	
北原自治会	2人	合計139人

4.居宅介護等事業

(1) ホームヘルパー人員

介護支援 専門員	正職・嘱託 臨時ヘルパー	登録 ヘルパー	看護師	計
0名	2名	11名	0名	11名

(2) 介護保険等関連事業の実施状況は次のとおりである。

事業名	28年度	27年度	26年度	28年度	27年度	26年度
	延人数	延人数	延人数	延回数	延回数	延回数
居宅介護支援事業	72	286	296	—	—	—
訪問介護事業	386	414	529	3,936	4,734	5,438
訪問入浴事業	39	12	39	0	61	193
障害者支援費事業	204	229	234	2,241	2,327	2,346
合計	629	941	1,098	629	7,122	7,977

5.社会福祉センター利用状況

本年度各種団体等の社会福祉センター利用状況は次のとおりである。

区分	26年度	27年度	28年度
高齢者関係	58回	50回	145回
身障関係	59回	57回	73回
福祉団体（民生委員等）	110回	89回	88回
市関係（公民館事業含む）	142回	98回	67回
一般団体及び個人	159回	97回	170回
社協関係	139回	142回	183回
合計	667回	533回	726回

6. 各種募金への協力

① 共同募金運動への協力

本年度目標額を5,270,000円と設定された共同募金活動に民生児童委員協議会をはじめ、各地区自治会長、各団体とともに市民各層の理解と協力をいただきながら、下記の成績をあげることができました。

- ・共同募金目標額 5, 270, 000円
- ・共同募金実績額 5, 532, 992円
- ・目標に対する実績率 105%

以上の募金に対して高知県共同募金会から土佐市共同募金委員会へ3, 997, 848円の還元配分金があった。

配分金は福祉団体・各地区社会福祉協議会・土佐市社会福祉協議会へ配分された。

② 日赤社資募集事業の推進に協力

社資募集の趣旨徹底と広報

本年度県支部より割り当て目標額3, 816, 000円が設定され、地域福祉の増進と災害に対する見舞いにあてるため、社資募集運動が展開された。

その結果、民生児童委員協議会をはじめ、各自治会長や各団体の協力と市民の理解により、下記の実績をあげることができた。

【日赤社資募集実績額 3, 210, 450円 実績率 84. 1%】

以上の成績により、日本赤十字高知県支部から土佐市地区に対して

533, 820円の交付金があった。交付金は8地区へ配分及び災害見舞金(火災3件)・事務費等に活用された。

住宅火災救援物資の支給 3件

※ また平成29年度においては、日赤高知県支部と土佐市と社会福祉協議会との三者協定の締結を目指している。

協定を結ぶ事によって、3者間の活動を相互補完する事により、災害時等でそれぞれが果たしていく役割を強化する狙いがある。

7.ふれあいのまちづくり事業

(1) ふれあい福祉相談センターの設置・運営

ふれあい福祉相談センターは相談員8名を委嘱。弁護士、専門相談員を配置月・水・金曜日の週3回の相談体制をもって、地域住民の抱える各種の問題について広く相談に応じた。

相談取扱件数 51 件

・内容別件数等の状況は別添資料のとおりである。

・その他関連事業として年3回人権擁護委員と合同相談を行った。

◎ 合同相談 3回

8. (1) ひとり暮らし老人給食サービス事業（共同募金配分金事業を含む）

社会的に孤立しがちなひとり暮らし老人を常に暖かく見守り、励ますために地域ぐるみの体制を確立し、地域社会における近隣間、世代間の交流を深め、老人の幸せを高めることを目的に給食サービスを実施した。

対象者：80歳以上のひとり暮らし老人	310名
実施回数	24回
延給食	7,382食
延調理ボランティア	283名
延配食ボランティア	1,630名
給食調理地区	宇佐・新居・中央・戸波

(2) 第39回土佐市社会福祉大会

少子・高齢化社会がますます進むなかで、誰もが安心して暮らせる地域づくりが課題となっており、基本的人権を尊重し、地域性を活かした住民参加の地域づくりを推進していくことが重要である。

このような中、社協の役割が最重要視される今、福祉関係者が相集い、共に支え合い安心して暮らせるまちづくりをめざそうと取り組んだ。

大会参加者は、約150名で社会福祉活動に貢献された福祉功労者への表彰及び感謝状の贈呈ほか、福祉活動推進校による活動発表が行われ、記念講演として高知あいあいネット青木美紀代表より「あなたが捨てている物はどれくらい？無駄にいませんか？」を演題に講演会が行われた。

講演では、生活困窮者への民間団体としての取り組みや、フードバンクについて学習しました。

なお、土佐市社会福祉協議会では、フードバンク高知に団体会員として登録し、活動していくこととしています。

○ 実施日 平成29年2月25日 於：社会福祉センター

9. あったかふれあいセンター事業

土佐市社会福祉協議会では、平成27年度より土佐市よりあったかふれあいセンター事業を受託し、主に高岡地区を中心に活動しています。

活動内容としては、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に集える場所を提供し、住み慣れた地域で安心・安全に生活できる地域づくりを展開している。

主な活動内容は、生きがいつくり・仲間づくり・閉じこもり防止・介護予防やサロン活動である。

月に一度のあったかカレーの日には、あったか関係者や近隣の住民も気軽に集いあったかの活動や対象者とのふれあいを行っている。

また、平成29年度においては、あったかサテライトとして蓮池地区に活動の幅を広げて行くようにしている。

10. 地域支え合い事業

土佐市社会福祉協議会では、平成28年度より地域支え合い事業を受託し活動を行っています。これは土佐市社会福祉協議会が従来より関わっている地域住民との活動を中心としており、第2層協議体（地域ネットワーク会議）として位置づけ
 ① 地域のニーズ把握②情報交換、情報共有の場③各種団体等の多様な主体への協力依頼④生活支援の担い手の養成及びサービス提供体制の構築を主にめざし地域の課題発見活動を行っている。

コーディネーターを中心として地域の課題を拾い上げています。次年度では課題を基にサービス体制の構築へと展開して行きます。

11. 日常生活自立支援事業

土佐市社会福祉協議会では、平成24年度より、高知県社会福祉協議会より当該事業を受託して、高齢や障害により、預金の出し入れや生活に必要な利用料などの支払い手続きなどの日常生活のお手伝いをしています。

自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助を行っています。

平成28年度統計

区 分	本年度
問合せ・相談件数	
認知症高齢者等	130
知的障害者等	182
精神障害者等	131
不明	26
本事業以外の相談	
新規契約締結件数	
認知症高齢者等	2
知的障害者等	2
精神障害者等	1
その他	0
終了件数	
現在の契約件数	
認知症高齢者等	10
知的障害者等	4
精神障害者等	4
その他	2

専門員数	1名
生活支援員数	5名

平成28年度 あったかふれあいセンター高岡

月	高齢者						障害者		子ども		その他	
	集	送	訪	生	交	相	集	送	集	送	集	交
4	134	31	38	18	2	0	21	0	27	0	25	0
5	133	31	34	4	9	0	11	0	0	0	71	0
6	173	49	19	0	13	2	3	0	0	0	27	0
7	229	51	31	7	4	3	12	0	4	0	21	0
8	241	67	35	7	6	6	28	0	48	0	50	0
9	215	57	39	3	21	11	23	0	0	0	72	0
10	297	88	41	1	33	12	21	0	42	0	65	0
11	318	97	60	13	14	13	20	0	58	0	40	0
12	261	114	54	11	4	8	3	0	42	0	48	0
1	222	85	32	2	32	5	11	1	14	1	19	72
2	309	104	45	4	54	0	16	0	3	0	55	50
3	349	119	57	0	29	0	0	0	21	0	64	21
合計	2,881	893	485	70	221	60	169	1	259	1	557	143

説明別添資料参照



平成28年度 ふれあい福祉相談センター月別相談状況

別添

平成29年3月31日現在

大分	番号	相談事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
くらし住まい	1	生計問題	1							1	1		1		4	
	2	年金問題	1					1							2	
	3	職業・生業問題													0	
	4	住宅問題	1			2	2			1					6	
家族	5	家族問題	1		1							1			3	
	6	結婚問題													0	
	7	離婚問題		1			2				1	1	1		6	
健康医療	8	健康・衛生問題													0	
	9	医療問題													0	
	10	精神衛生問題													0	
法律	11	人権・法律問題				1								1	2	
	12	財産問題			1		5	2	1			2	1		12	
	13	事故問題													0	
福祉	14	児童福祉・母子保健問題													0	
	15	教育・青少年問題													0	
教育	16	心身障害者(児)福祉問題													0	
	17	母子・父子福祉問題													0	
	18	老人福祉問題													0	
その他	19	苦情問題	1	1		1	2		1	1	1	1	1	1	11	
	20	その他					2		1		1		1		5	
計			5	2	2	4	13	3	3	3	4	5	5	2	51	

相談種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
一般相談	2	1	1	4	13	1	2	1	3	1	3	1	33	
電話相談	3	1	1	0	0	2	0	2	0	1	0	1	11	
合同相談	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3	
専門相談(法律)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4	
計	5	2	2	4	13	3	3	3	4	5	5	2	51	

	26年度	27年度	28年度
件数	64	58	51

ふれあいフェスタ炊出し訓練の様子



ふれあいフェスタ手話体験学習の様子



災害ボランティアセンター設置訓練研修の様子



福祉推進校の体験学習



フードバンク事業（ホームレスや困窮者の方々への支援品の一部）



生活支援コーディネーターの活動（蓮池）

